

てびねり

平成22年1月5日発行
株式会社ゆしま陶助



明けまして
おめでとございませす

今年も皆様とともに頑張りませす

平成二十二年 元旦



ゆしま陶芸倶楽部
園部正樹

文化庁海外展 大英博物館帰国記念

国宝 土偶展

会期 12月15日～2月21日
会場 東京国立博物館



上右 国宝合掌土偶
青森県出土
上左 国宝中空土偶
北海道出土
左横 重文
ハート形土偶
群馬県出土

昨秋、イギリス大英博物館で開催された

「THE POWER OF DOGU」の帰国展です。
日本の代表的な土偶、国宝3点を含む全67点
の展観です。1万3千年前の縄文時代草創期
から弥生時代中期の個性豊かな造形美を
ご覧ください。お子さん、お孫さんの冬休みの体験に
は最適な催しの一つになると思ひます。

写真 国宝土偶展HPから

記 佐藤

◆今月の制作風景

□小畑明子さん
次に作る作品を研究中です。



□知久真理子さん
練り込みの小鉢の削り中…。



□渋谷洋子さん
たくさんぐい呑を作りました。
小さいから削りが大変です。



□対尾景子さん
土鍋の蒸し蓋の削りです。



□菅原淑子さん
ロクロでご飯茶碗を制作中。



□浅沼範子さん
酒器の形を整えています。
変り型なので穴をあけない
ようにがんばって…。



□田口治喜さん
ぐい呑の削り中。



□井口誠子さん
面取りをした器を整えていま
す。



□小林和彦さん
オリジナルのマグカップに手
を付けている、プロ級の小林さん
です。



□武田京子さん
陶箱を真剣に削っています。



□加藤美代子さん
四方皿に上絵を付けています。



□関口隆司さん
ロクロで大中小のうつわ作り。



千代田線湯島駅広小路口から1分
ゆしま陶芸倶楽部 印から3分

私が勧める美味しい店

湯島 スコッチバー ノア

文京区湯島3 46 2
電話38362 3411

推薦者 佐藤洪景

マスターの石墨一雄さんは銀座で修
業し、湯島のこの地でスコッチバーノアを
開店してまもなく40年になります。
戦後の1ドル360円のころにパーテ
ンダ協会の一員としてスコッチの本場英
国に勉強に行った本格派ですが、日頃
はそんなことはおくびにも出さない
洒落好きな気さくなマスターです。



スコッチは直輸入や、かなりの年代物
を始め種類は豊富です。他にはハイボ
ンやブランドも取り揃えています。
但し国産ウイスキーはありません。
また、マスターが作るつまみが独自の
美味しいので評判です。

左の写真は、急階段の入口です。
この階段を上ると昭和レトロの雰囲気
気十分な隠れ家のようなバーノアが
あります。椅子8席）
マスターの石墨さんはカクテルサ
ムライを考案したことで有名です、スコ
ッチだけでなくカクテルもいすよ。
店内に流れるスローなジャズを聴きなが
ら静かにグラスを傾けてみませんか。



年中無休(日・祝もOK)
価格 一人3千円～
ゆしま陶芸倶楽部と言
えば何かサービスが…
場所は上記地図参照

今月の作品

□佐々由佳さん 「絵付鉢」



唐草と十草の絵付けのバランスがとてもいいですね。

□木村紀子さん 「スープカップ」



粉引のスープカップに鉄絵を付けました。手が一つ一つ違うのがアクセントになっていて、遊び心のある器です。

□近藤律子さん 「焼酎カップ」



ロクロで赤土で作りました。上はルリイラボ、下は白マットにビードロを掛けました。

□秋月聡子さん 「吹墨皿」



本物の紅葉を型にした吹墨の皿です。弁柄に白マットで秋らしい色に出ました。

□浅沼範子さん 「菓子皿」



赤土を1本1本編みながら作ったお茶事の際に干菓子盛る器です。お見事！

□菅野満雄さん 「トロフィー」



オリジナルの優勝トロフィー。だるま会と字を抜き、黒マットに鉄赤で仕上げました。だるま会とは手も足も出ないという意味だそうで、楽しそうなゴルフ会です。

□杉山尚子さん 「ふた物」



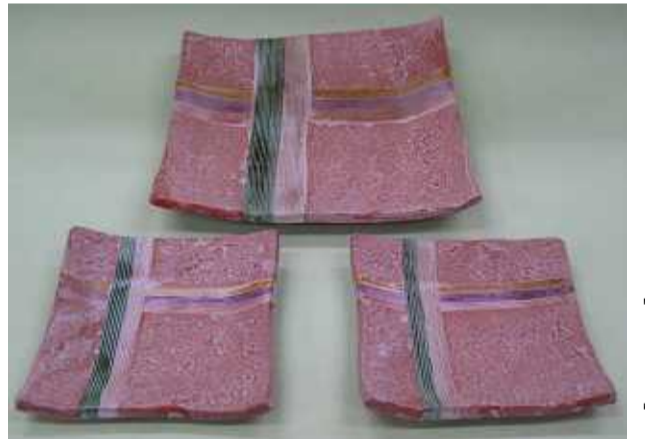
いつも大きな植木鉢を作っている杉山さんが今回は小さなふた物を沢山作りました。それぞれ形も色も違い味があります。

□八島真弓さん 「土鍋」



何年越し？かの土鍋がようやく出来上がりしましたね。素敵な淡い色に仕上がりました。大きいですから、お友達が来ても楽しめますね。

□加藤美代子さん 「四方皿」



魯山人風の斬新なデザインです。紅志野の色もあざやかでモダンな作品になりました。

□中河政子さん 「輪花皿」



バランスよく染付をした輪花皿。淡い色がきれいです。頑張りました。

□川淵啓子さん 「ご飯茶碗」
ビードロ釉を掛けて還元焼成しました。すてきな夫婦茶碗です。



□吉川睦子さん 「中鉢」



赤土で作って、赤土を貼り付けて柄にした鉢。白マットと織部で仕上げました。

□小野寺修さん 「組平鉢」



縁に呉須でワンポイントを入れ、白マットを掛けました。使いやすいそうなうつつです。

□木村治さん 「四方皿」



厚みが一寸ほどある白萩の四方皿。少し陶芸を離れ再入会された方なのでやはり基本がしっかりしています。

見た事・聞いた事・読んだ事

見えない戦争

平成17年に百寺巡礼を達成した作家の五木寛之が、日本は世界最高の長寿社会を作りながら、一方で、自殺大国なのは何故だろう、そして我々はその現実を実感として認識していないのも問題ではないか」と語っています。

続けて「わが国の自殺者はこのところ年間三万人以上出でており、新聞を読むのが嫌になるような凶悪犯罪も増え続けています。そのような現象の背後には、やはり人の命が軽くなっているのだと思う」「アメリカが15年間続けたベトナム戦争の戦死者の総数と、日本の2年間の自殺者数が同じだというのは大変なことだ、「見えない戦争」がこの日本列島で起きている」と言っています。

日本女子大中村博志教授の調査によると、小学校高学年に「一度死んだ人間が生き返ると思うか」と質問したところ、「生き返る」と答えた児童が33・9%もいたのがく然としたそうです。

「わからない」も31・5%あったというのですから、けんかをして加減を知らない子供が簡単に友達を殺したりする事件が後を絶たないのもうなずけます。

子供手当

金が無い、欲しいものが手に入らない、その度に切れて外に向かうのが凶悪事件、内に向かうのが自殺だそうですが、根っこは同じ。共に精神面の病弱と弱さが要因になっているといわれています。

人間の価値はお金や物だけではないことや、感情や欲望を我慢する自制心の大切さや、親や目上の人を敬うとか精神面や道徳の教育を、しっかりとやってほしい。いつ始まったのか国旗や国歌を大切にしないような偏った教育はいけないし、高額な「子供手当」をばらまくだけではなく、「子供は国の宝」と胸を張っているような教育や環境作りを同時進行させていってほしいと思います。

日本は2年前に90歳以上の人口が100万人を超えました。今年には五木寛之がいう「見えない戦争」の犠牲者を減らし、長寿国日本にぜひ活力が復活する一年になって欲しいものです。(佐藤)